

若い芽

令和8年4月号②

令和8年（2026年）4月17日発行

第41回入学式 式辞

校長 後藤 大輔

少しずつ日中の気温が上がり、雪どけとともに草花の息吹きを感じられる季節となりました。令和8年度札幌市立栄町中学校に入学する172名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんの本校への入学を心より歓迎いたします。

また、この佳き日に本校のPTA会長様をはじめ、本校学校評議員の皆様、校区内の各小学校校長先生の皆様、並びに町内会や関係団体の方々等、多くの御来賓の皆様をこの会場にお迎えし、ここに入学式を盛大に行うことができますことを心より感謝申し上げますとともに、たいへん嬉しく感じております。

新入生の皆さん、皆さんの学び舎となる本校は昨年度開校40年目の節目を迎えました。本校は学校教育目標を「自らの道を自らの力で切り拓く活力にあふれた生徒の育成」とし、目指す生徒像として「真理を求め、創造的な思考力をもつ生徒」「豊かな心もち、人や自然を大切にできる生徒」「困難に耐え、活力にあふれた行動ができる生徒」「明るく健康で、たくましい体をもつ生徒」の4つを掲げております。これらは、本校の教職員や生徒が何代にわたって入れ替わっても、この40年間揺らぐことなく脈々と受け継がれてきた栄町中学校の魂であり、これを基に歴史と伝統が築かれてきました。皆さんもこの尊い歴史と伝統を受け継ぐ者の一人として、誇り高い中学校生活を送り、本校で学んできてよかったと思える3年間にしていきたいと願ってやみません。

さて、中学生となった皆さんにお願いがあります。皆さんには今日から同じ学級、同じ学年になった新しい仲間ができました。その仲間に対して、相手の思いや立場、様々な事情を考えようとする心、いわゆる「思いやりの心」をしっかりとってほしいと思います。「自分がもし〇〇くんだったら」「きっと〇〇さんはこんなふうに思っているんじゃないか」と相手の気持ちを想像できれば、自然に相手を助けようと行動できるはずです。小学校時代は事情があって欠席が多くなったり、あまり勉強に身が入らなかつたりしたけど、そんな自分をリセットして「再出発」しようとしている仲間がいたら、ぜひ応援してあげてください。「想像」の「想」の字は「相手」を「心」で支えると書きます。一人一人が相手を支えようとすることで、学級や学年のまとまりが生まれ、自分自身も過ごしやすい中学校生活となるだけでなく、中学校のよき伝統をつくるのです。

皆さんも御存じの石川啄木は「人は出会って知人となり、語らい合って友人となり、共に汗して仲間となる」という言葉を残しました。今日出会った仲間を思いや

り、一緒に学んで高め合い、本当の仲間になってください。

続いて保護者の皆様、本日はお子様の御入学、誠にありがとうございます。私たち教職員一同、子どもたちの義務教育最後の3年間で、健全な心身の成長に資するものとなるよう日々努力してまいります。思春期を迎える中学校での3年間で、子どもたちは心身ともに大きく、そしてたくましく成長しますが、自立に向けて悩みや葛藤を抱えやすい時期でもあります。学校と家庭が手を携えて、子どもたちに対して時にはアドバイスし、時にはじっと見守りながら支えていくことが何よりも大切であると考えています。保護者の皆様には、本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますことをお願い申し上げます。

結びになります。本校の教育に日頃より御支援をいただいております御来賓の皆様、改めて感謝申し上げますとともに、今後とも本校教育にあたたかなお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。式辞といたします。

PTA 会長祝辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして保護者の皆様、お子様の新たな門出を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆さん、新しい制服を着て、はじめて中学校に登校しましたが、今、どんな気持ちですか？新しい生活のスタートにワクワクしていますか？それとも、少し不安を感じていますか？何も心配することはありません。皆さんのことを、先生、先輩、友達、そして家族や地域の方々が温かく見守り、応援してくれます。安心して中学校生活をスタートしてください。

さて、中学生になると、小学生とは違い、自分で考え、自分で決めて行動する事が求められます。また、勉強、部活動、新しい友達との出会い、その全てが、皆さんの未来につながっています。だからこそ、たくさんのことに挑戦してください。「できるだろうか？」と迷うことがあっても、勇気を出して一歩踏み出せば、新しい景色が見えてきます。これからの生活では、壁にぶつかったり、悩んだりすることもあるでしょう。そんな時に覚えておいてほしいのは、「人に頼ることは、決して恥ずかしいことではない」ということです。困った時に「助けて」と言えるのは、自分の弱さと向き合える本当の強さを持っている証拠です。どうか周りの人を信頼し、支え合いながら、一歩ずつ前に進んでいってください。そして、もし友達が一人で悩んでいたら、そっと声をかけてあげてください。仲間と一緒になら、一人では乗り越えられないことも、きっと乗り越えられます。

私たち PTA も、皆さんが楽しく充実した学校生活を送れるよう、全力でサポートしてまいります。そして保護者の皆様とともに、子供たちの成長を見守りながら、学校をより良い場にしていければと思います。

最後に、新入生の皆さん、三年後、卒業する日には、「この学校で過ごせてよかった」と思えるような中学校生活を送ってください。皆さんの新しい生活が、希望に満ちた素晴らしいものになることを心から願い、祝辞とさせていただきます。

新入生代表の言葉

< 1年生 >

期待と少しの不安を胸に、私たちは本日栄町中学校の新入生として新たな一步を踏み出しました。こうして入学の日を迎えられたことを大変うれしく思います。これまで支えてくださった家族や先生方に心から感謝いたします。

中学校では勉強や部活動など小学校とは違った新しい生活が始まります。勉強では苦手な教科にも積極的に取り組み、自分の力を伸ばしていきたいと考えています。また部活動では、仲間と協力し、一つの目標に向かって努力する中で多くのことを学んでいきたいです。新しい環境に戸惑うことや不安に感じることもあると思います。しかし、それ以上に新しい仲間との出会いや、これからの学校生活への期待で胸がいっぱいです。先生方や先輩方にアドバイスを頂きながら、3年間の中学校生活でそれぞれが成長できるよう仲間と支え合い、毎日を大切に努力し続けていきたいと思っています。



在校生代表の言葉

< 3年生 >

春風が心地よい季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。新しい制服に身を包んだ皆さんの姿を見ると私が入学した時を思い出します。皆さんは今、これからの学校生活に期待を持ちながらも新しい環境でやっていけるのだろうかという不安もあるかと思います。私達2、3年生が入学した際にも同じことを思っていました。しかし、普段の学校生活や様々な行事を通して友達や先輩、先生方と関わるうちに学校が楽しくなってきました。きっと皆さんもいつの間にか不安がなくなり、楽しい学校生活を送ることができるでしょう。

栄町中学校の伝統は、挨拶と合唱です。私達は廊下で先生方や先輩、後輩とすれ違った時は、目を見て挨拶するように心がけています。新入生の皆さんもぜひ自分から挨拶をしてみてください。一人一人が挨拶をすることで、栄町中学校は明るく、より良い学校になるでしょう。合唱はどのクラスも素晴らしい歌声を響かせています。合唱コンクールはクラスで団結し、絆が深まる大切な行事です。みんなで心を一つにして歌うことで最高の思い出をつくることができます。この後私達在校生が新入生へ送る合唱をしますので楽しみにしてください。他にも魅力的な行事は沢山あります。学校祭では限られた準備期間で協力し、ステージ発表や装飾を作り上げます。クラスの個性が溢れた感動的なもので、楽しい充実した日となります。

皆さん、栄町中学校の生活や行事に関心を持つことができたでしょうか。中学校3年間はあっという間に過ぎていきます。一日一日を大切に沢山の思い出を作ってほしいと思います。何事にも積極的に取り組むことを意識してみてください。これから委員会や局会、部活動など自分自身で決断する機会が多くなります。自信を持って積極的にチャレンジしてみてください。分からないことがあれば私達に相談してください。1日でも早く中学校生活に慣れるよう在校生一同応援しています。皆さんと共に楽しい学校生活を送れることを楽しみにしています。

